

～ 製品の特長 ～

★これは便利！自動で時刻合わせ

標準時刻の電波を受信して毎日時刻合わせを自動的に行います。

★毎正時にメロディとからくりパフォーマンス

正時にメロディとともに文字板が開き、飾りが回転し、ライトが点滅します。

★電池の交換時期お知らせ機能

電池の残量が少なくなると、電池ランプが点滅して電池の交換時期をお知らせします。

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきます。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。

お問い合わせに際しては、**時計裏面に表示してある製品番号（型番）**をお伝えください。例 4MN○○○

（フリーダイヤル）

お問い合わせ先 お客様相談室 0120-557-005

受付時間 9:00 ～ 17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

（Y1109）

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

	警告	死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容
	注意	傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容

 警告

 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

 電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
●電池に傷をつけたり、分解したりしない。 ●電池をショートさせない。
●電池を充電しない。 ●加熱したり、火の中に入れたりしない。

 電池から液もれが起きてしまったときは、**素手でさわらない**
●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。
衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
●もれた液に直接触れないでください。
ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

 注意

 電池の⊕⊖を正しく入れる
液もれや発熱の原因となり、故障やけがの原因になります。

 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

 浴室やサウナ、温室など、高温・高温になる所では使わない
さびの発生や故障の原因になります。

 分解したり改造しない
けがや故障の原因になります。

■使用場所について

 下記のような場所では使わない
品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 温風ヒーターなど乾燥した風が当たる所。
- 温度が＋50℃以上の所。
- 温度が－10℃以下の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- ガスの発生する所。（プール、温泉場など）
- 多くの油を使用する所。（調理場など）
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。

本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますので、ご了承ください。

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。
標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://jjy.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について

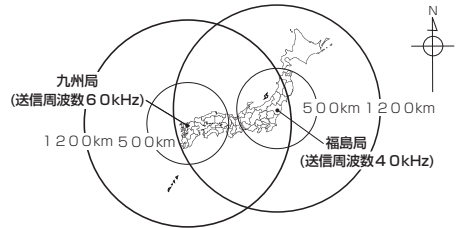
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがありますのでお勧めできません。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼／夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

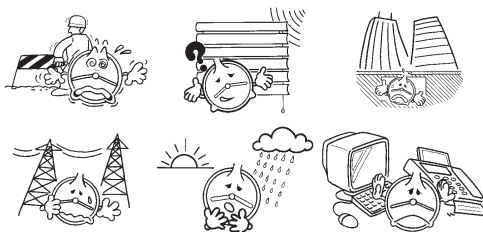


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起さる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



電池のご注意（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス（＋）、マイナス（－）を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類が異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手の届かない所に置く。

電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。（例：Panasonic オキシライド乾電池）

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

電池・時計の廃棄

- お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- 電池を取り外してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

おもな製品仕様

使用温度範囲	－10 ～ 50℃ ＊結露しないこと	電 波 受 信 機 能	標準電波受信による時刻修正
時 間 精 度	標準電波受信成功直後の表示精度	受 信 局	福島局／九州局 自動選択
	時分針 目盛りに対して ±3度	受 信 回 数	最少 1日1回 最多 1日12回
	標準電波を受信しない場合		
	平均月差 ±20 秒（常温中のクォーツ精度）	自動受信について	
報 時 精 度	表示時刻に対して ±1秒	受信状態により、受信回数は変化します。	
使 用 電 池	単1形アルカリ乾電池		
	JIS 規格 LR20 2個		
電 池 寿 命	約1年	か ら く り	メロディとともに文字板面開閉、
	標準電波の受信に成功し、報時を音量	パ フ ォ ー マ ン ス	内部回転、ランプ点滅
	中位で1日に17回行ったとき	モ ニ タ ー 機 能	からくりパフォーマンスを試す
報 時 機 能	毎正時にメロディを奏でる	展 示 機 能	展示ボタンにより、文字板面開閉
	ON/OFF スイッチ切り替え	回 転 飾 り	一方向に常時回転
	自動鳴り止め 明暗センサーと連動して暗所停止		
	種 類 全 30 曲 分類3群 スイッチ選択		
	音 量 調 節 ロータリー式ボリューム		
	モ ニ タ ー メロディの試聴可能		
電池交換時期	あり 赤色LEDランプ点灯		
お知らせ機能			

- 製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品

単1形アルカリ乾電池 2個 木ねじ 1個 取扱説明書 本書 保証書 1枚

図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。

電池ランプ
2秒に1回赤色点滅したら電池を交換する。

時計（短い針）
分針（長い針）

ランプ（3カ所）
メロディとともに点滅。

受信表示ランプ

明暗センサー

回転飾り
常時動いています。

電池を入れる

電池ぶた

開く

閉じる

①電池ぶたを引っ張って取り外す

②単1形アルカリ乾電池2個を電池ホルダーに入れる。

③電池ぶたを押し込んで取り付ける。

（正面）

（裏面）

壁掛け穴

電池ぶた

側面操作部

時刻合わせボタン
手動で時刻を合わせるときに使用します。

強制受信ボタン
電池を入れたときや設置場所を変えたときに押します。

〈側面操作部〉

モニターボタン

展示機能

音量

時刻合わせ

強制受信

選択スイッチ

報時スイッチ

①モニターボタン

①ボリューム

①報時スイッチ

①報時スイッチ

ON : 報時する

OFF : 報時しない

報時するときの動きについて

メロディとともに開閉します。

メロディとともに回転します。
曲の途中で回転方向が反転します。

針の動き……通常の時刻表示

時計針・分針:10秒に1回動きます。

※自動受信により、時刻を修正するときは早送りで移動したり、停止することがあります。

明暗センサーのはたらき

明暗センサーが暗いと判別した場合

- ▶受信表示ランプの消灯
- ▶報時の停止

昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが動きます。

展示ボタンについて

展示ボタンを押すと、文字板が3方向に開いた状態になります。閉じた状態に戻すには、再度、展示ボタンを押します。

※開いた状態でも、毎正時に鳴りますが、電池の消耗を早めます。

※輸送時は文字板が閉じた状態にしてください。

Ⓐ 標準電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ざわや取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。

●時刻を合わせて使用する

ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

受信できない場合は、下記の操作で時刻を合わせるによりご使用になれます。

手動での時刻合わせ…電波を受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。

※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。

※受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

時刻合わせボタンを押すと針が動き始めます。

- 時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。
- 時刻合わせボタンを押し続けると早送りで動きます。

Ⓑ 電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換時期になると、電池ランプが2秒に1回赤く点滅します。電池ランプが点滅したら速やかに新品の電池にすべて交換してください。電池ランプが点滅した状態で放置すると、時間違いや誤作動の原因になります。また、電池からの液もれにより、時計の故障、壁や家具などに損害が発生する恐れがあります。

※電池寿命が残り約1カ月のときからこの機能が動き出します。

⚠ 注意 電池の交換 早めに交換して液もれを防ぎましょう

電池からの液もれにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混ぜて使用しない。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、**手動での時刻合わせ**を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすいところでお使いください。

① 報時スイッチをOFFにし、音量を最小にする

操作中に、メロディが大きな音で鳴り出さないようにします。

② 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて単1形アルカリ乾電池を入れる

電池の⊕⊖を逆に入れると、電池の液もれ・発熱・破裂の原因となります。

③ 強制受信ボタンを押す **受信の流れ（受信表示ランプの見方）** 参照

受信表示ランプが点灯し受信を開始します。針は止まったままですが、故障ではありません。受信が終わると針が早送りで時刻位置に移動します。

※電池を入れた後は、必ず強制受信ボタンを押してください。

※受信中はボタン操作をしないでください。

④ **時計の掛けかた** に従って時計を確実に掛ける

⑤ 15分待つて受信結果を確認する

受信表示ランプが2秒に1回点滅すれば、受信に成功し、正しい時刻を表示します。

消灯している場合は、**Ⓐ 標準電波を受信できない場合**を参照してください。

●受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。

●受信に成功しているのに、時刻が正しくない場合は、ノイズの影響と思われるので、場所を変えてから強制受信ボタンを押してください。

受信の流れ（受信表示ランプの見方）

■ 報時の設定……………お好みに合わせて報時機能を設定してください。

報時は、毎正時にメロディを1曲奏で、ランプが点滅します。また、文字板が回転しながら開閉します。

Ⓘ 報時スイッチ

ON 毎正時にメロディを1曲奏でます。

OFF 報時しません。

※報時スイッチをONに設定しても、明暗センサーにより暗くなると自動的に報時をしなくなります。→ **明暗センサーのはたらき** 参照

Ⓛ 選択スイッチ

報時するメロディの種類を選択してください。

曲目は、時計裏面に表示してあります。

Ⅶ ボリューム……………音量の調節

メロディの音量を調節できます。モニターボタンを押すとメロディが鳴りますので、その間にボリュームを回し、調節してください。

Ⅷ モニター……………からくりパフォーマンスの確認

モニターボタンを押すと、時刻に関係なくメロディを試聴することができます。また同時に文字板の動きやランプの点滅が確認できます。

○選択スイッチで指定されたグループのメロディを奏でます。

○次に報時するときには、再生の順番が1つ進みます。

●時刻ごとにメロディは固定されていません。また順番も変えられません。

●時刻合わせボタンを操作して、正時（たとえば10時）に合わせても報時をしません。

時計の掛けかた

⚠ 注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。

○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具（木ねじ）がしっかり掛かっていることを確認してください。

○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。

○ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

●付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。

●木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

その他の壁面の場合

●石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

時計を垂直に掛けてください